

第2回函館市行財政懇話会の意見集約

第2回の函館市行財政懇話会での様々な意見についてを集約すると、行財政改革全般にわたる基本的な事項のほか、大きくは「財政」・「人事・給与・行政運営」・「市民との関わり」の三つの分野に分類することが出来るものと考え、それぞれの意見を以下のとおり集約した。

■行財政改革全般にわたる基本的な事項

【委員意見】

- ・ 行政として何をやらないかという論拠を市民に説明すべき
- ・ 市民の満足度を上げるためには、市民に対する説明責任を果たさなければならない
- ・ 課題認識を上司と部下が共有することが必要
- ・ 組織の現状を全体で認識したうえで根本的な削減計画を持たない限り削減できないと思っている

《意見のPoint》

- ・ 市民に対する説明責任の徹底
- ・ 課題認識の共有化
- ・ 職員の意識改革

□財政分野

【委員意見】

- ・ プライマリーバランスを取るために何をすべきかということ
- ・ 債権の回収など各分野での徹底した民間とのコスト比較が必要
- ・ 民間に委ねることによりコストが下がることも多い
- ・ やるべきことはやって、やめるべきところをやめることが必要であり、一律のシーリングは得策ではない
- ・ 一律的に削減することにはならないので、どこを削減するのか見極めることが必要
- ・ これまでの行財政改革は、あくまでも計画でしかなく、きちんとした目標設定をすべき
- ・ これまで全てにおいて目標の設定がない
- ・ 一般会計も実質的には赤字なので、明確な削減目標値を持つべき
- ・ 財政的な目標を持つべきであり、その際にどこにどれだけマイナス目標を設定するかが重要になる
- ・ 給付行政について、行政が単独で政策判断することは難しい面もあるので、外部の意見を活用することも必要
- ・ 財政破綻を来さないためにも、しっかりと取り組んで行かななければならない
- ・ 公営企業の経営の見直しに積極的に取り組むべき
- ・ 病院事業などで、不採算であっても担っていかなければならない事業もあるが、そのためにはそうする論拠を市民に対して示さなければならない

《意見のPoint》

- ・ 徹底した官民とのコスト比較
- ・ 目標値の設定
- ・ 中長期的な視野にたった財政運営
- ・ 歳入の確保（市税収納率の向上、経済対策、債権回収等）
- ・ 公営企業経営の健全化
- ・ 選択と集中の視点
- ・ 外部委員等の活用

《市として考える課題》

- ・ 公共施設等の計画的な維持管理
- ・ 第三セクターへの支援・関与のあり方検討

□人事・給与・行政運営分野

【委員意見】

- ・ 職制による給与格差が民間と比較して少ない
- ・ 職員が求められている能力を発揮しているのであれば、公務員給与は決して高くない
- ・ 給与体系の柱を何本か設定し、それぞれに格差を設ける必要がある
- ・ 人件費総額をどう抑制するかという議論のなかで仕事に対する報酬を職員の中で決めることも必要
- ・ 民間給与は、若干の上昇傾向であるが、公務員給与は下降しているものの、それでも民間と比較すると公務員給与が高い。
- ・ 年齢構成の偏在化が顕著であり、また、年齢構成は若年層が多く、高齢層が少ない方がコスト的にもメリットがあるので、可能であれば高齢層の方に退職してもらい、新規採用をすることが必要
- ・ 人事制度のなかで降格制度も必要

《意見のPoint》

- ・ 給与制度の見直し
- ・ 人事制度の見直し

《市として考える課題》

- ・ 組織力の向上
(選択と集中の視点による職員配置, 年齢構成の偏在化解消, ノウハウの継承, 定年延長・再任用制度への対応, 人口減少に対応した組織のスリム化)
- ・ 職員の資質向上
(人事評価制度の導入, 職員研修の充実等)

□市民との関わり

【委員意見】

- ・ 町会や市民の役割など、もっと市民がわかるような広報をすべき
- ・ 町会等を活用した広報・啓発を充実すべき
- ・ これからは行政は何をしないのかを決定する役割を担っていかなければならない
- ・ 何が公共で何が公共でないのか明確にすべき
- ・ これからは「何でも行政」とはならない。市民もそのことを認識すべき
- ・ 市民がどこまでやるかを定めることが必要
- ・ 市は情報は提供しているという体裁だけを整えているという部分もあるのではない
か
- ・ 市民理解を得るにしても、行政と市民の距離が遠いように感じる

《意見のPoint》

- ・ 市民と行政の役割分担の明確化
- ・ 積極的な情報提供やニーズの把握
- ・ 市民と行政との連携, 透明性の確保

《市として考える課題》

- ・ NPO法人等の市民団体の育成
(コーディネーターの育成, 市民・事業者・行政間のネットワークの構築)